

令和6年度 一般会計当初予算(案)説明資料 (概要版)

企画財政課 財政係

令和6年度 当初予算のポイント

P.1

予算総額 P.2

- ・R6一般会計当初予算額：180.8億円
- ・R5一般会計当初予算額：175.0億円
- ・前年+5.8億円

歳入 P.3

- ・市税：28億4,201万円（▲1億5,580万円）
- ・普通交付税：62億円（+8,000万円）
- ・臨時財政対策債：2,000万円（▲3,000万円）

歳出（目的別）

総務費

- 31億9,181万円（+6億3,792万円）
- ・ふるさと寄附金特産品贈答事業+3億2,513万円（寄附金増）
 - ・電算管理事業+7,702万円（基幹業務システム統一・標準化）等

民生費

- 60億3,424万円（+2億692万円）
- ・子ども・子育て支援給付事業+6,237万円（需要増）
 - ・障がい者自立支援給付事業+5,379万円（需要増）等

衛生費

- 14億5,385万円（▲2億1,910万円）
- ・コロナワクチン接種関係事業▲1億4,003万円（事業終了）
 - ・藤ヶ谷清掃センター運営事業▲3,027万円（維持管理費減）等

農林 水産業費

- 14億2,355万円（+1億1,609万円）
- ・おおいた園芸産地づくり支援事業+1億2,334万円（需要増）
 - ・団体営農道保全対策事業+1,800万円（延長増）等

商工費

- 2億6,273万円（▲9,655万円）
- ・八坂・東地区工業団地整備事業▲8,713万円（R6補正対応）等

土木費

- 12億1,044万円（▲6,097万円）
- ・下水道事業会計繰出金（公共・特環）▲1億1,039万円
 - ・都市計画総務管理事業+4,919万円（都市計画基本図更新）等

消防費

- 7億5,622万円（▲7,018万円）
- ・常備消防事業▲5,365万円（杵築速見消防組合公債費減）等

教育費

- 14億7,275万円（+1億1,860万円）
- ・小学校管理事業（学校教育課）+2,648万円（教科書更新）
 - ・学校給食食材費高騰対策+2,373万円 等

災害復旧費

- 3億8,271万円（+1,010万円）
- ・当初計上額の見直しのため（5か年平均で算出）

歳出（性質別） P.4

人件費

- 30億952万円（+1億3,542万円）
- ・人事委員会勧告に準じた給料表の改定、退職手当の増 等

扶助費

- 37億3,066万円（+1億7,008万円）
- ・民生費説明による影響 等

公債費

- 16億9,125万円（▲6,633万円）
- ・R5に行った繰上償還による減 等

普通建設 事業費

- 12億2,261万円（+6,184万円）
- ・P.12に、R6の主な実施事業掲載

事業数

- ・R6事業数：435事業（▲20事業）
- ・R5事業数：455事業 ※うち事業統合により▲24
- ・新事業：6事業 ※P.8以降の事業名の前に●を記載

基金 P.5

- ・財政調整基金繰入金：0円（4年連続）
- ・財政調整基金残高：約28.5億円（R6末見込）
- ・財政調整基金以外の基金繰入金：8億9,406万円（普通会計、前年▲6,532万円）
- ・財政調整基金以外の基金残高：約38.3億円（普通会計、R6末見込）

市債 P.6

- ・市債（A）：7億1,830万円
- ・市債（普通会計）：9億1,220万円
- ・市債（普通会計ガイドラインベース）：7億8,760万円
- ・公債費元金（B）：16億3,145万円
- ・公債費利子（C）：5,680万円
- ・プライマリーバランス：黒字（A<B+C）
- ・市債残高（普通会計）：約176.1億円（R6末見込）

重点新規 P.7~11

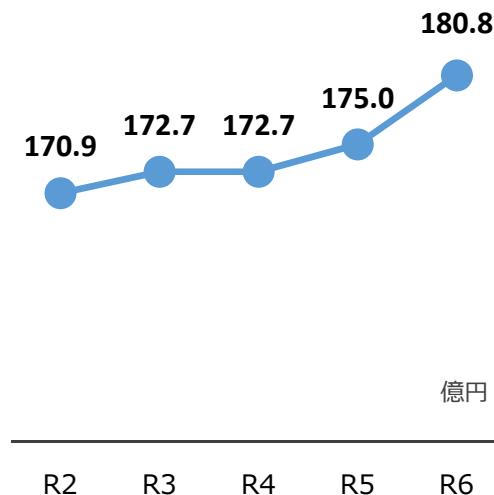
- ・総合計画策定事業
- ・移住したいまち、定住し続けられるまち
- ・地域活力×チャレンジ
- ・モバイルクリニック推進事業
- ・その他の主な新規項目

※ガイドライン：杵築市財政健全化条例第8条にて作成を義務付けている財政規律

一般会計歳入歳出総額

180.8 億円
(前年+5.8億円)

- ✓ 未来戦略推進プランに沿った予算組みを実施
- ✓ 財政調整基金繰入金0を達成（4年連続）
- ✓ 個人市民税は定額減税による減収を9,800万円とし、同額を地方特例交付金に計上
- ✓ 普通交付税+臨時財政対策債は増
- ✓ 財政調整基金以外の基金繰入金は、前年▲0.7億円で財政健全化に前進



歳入

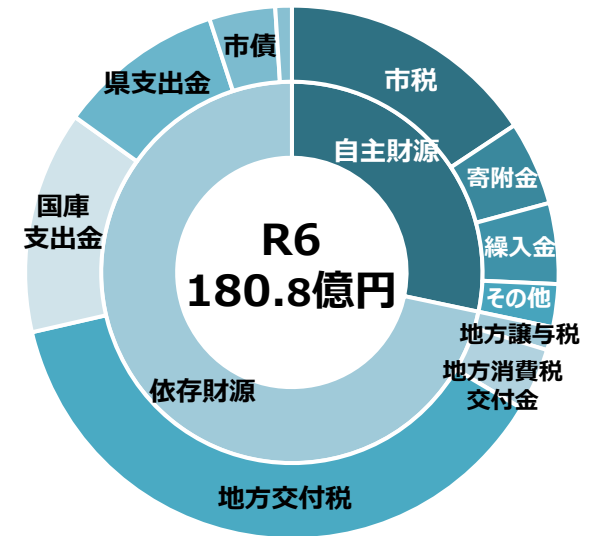
- ・市税：▲1億5,580万円
個人市民税：8億700万円（▲1億800万円）
法人市民税：1億4,220万円（▲700万円）
固定資産税：15億8,800万円（▲3,230万円）
- ・地方交付税：+1億3,000万円
普通交付税：62億円（+8,000万円）
特別交付税：6億5,000万円（+5,000万円）
地方財政対策を考慮、留保額も見込む
- ・寄附金：+3億2,900万円
ふるさと杵築応援寄附金：9億円（+3億2,500万円）
- ・繰入金：▲7,079万円
ふるさと杵築応援基金繰入金：4億9,780万円（▲7,350万円）
地域活力創出基金繰入金：2億9,080万円（+440万円）
地域福祉基金繰入金：0円（▲1,500万円）等
- ・市債：+2,130万円
東山香地区コミュニティセンター整備事業債：3,200万円（皆増）等

歳出

- ・人件費：+1億3,542万円
人事委員会勧告に準じた給料表の改定、退職手当の増等
- ・扶助費：+1億7,008万円
子ども・子育て支援給付事業、障がい者自立支援給付事業の増等
- ・公債費：▲6,633万円
R5に行った繰上償還による減等
- ・物件費：+1億6,324万円
ふるさと寄附金特産品贈答事業、電算管理事業の増等
- ・補助費等：+9,142万円
下水道事業会計繰入金（農集）の増（+7,463万円）等
一部事務組合に対する負担金は減（▲1億127万円）
- ・積立金：+1億5,397万円
ふるさと杵築応援基金積立金の増（+1億9,971万円）
職員退職手当基金積立金の減（▲4,994万円）等
- ・繰出金：▲1億763万円
農業集落排水事業特別会計繰出金の減（▲1億2,141万円）等

単位：千円、%

	R6		R5		増減額	増減率
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A-B	(A-B)/B
市税	2,842,010	15.7	2,997,809	17.1	▲ 155,799	▲ 5.2
分担金及び負担金	65,097	0.4	51,466	0.3	13,631	26.5
使用料及び手数料	175,868	1.0	174,984	1.0	884	0.5
自主財源						
財産収入	37,140	0.2	33,293	0.2	3,847	11.6
寄附金	912,701	5.1	583,701	3.3	329,000	56.4
繰入金	881,735	4.9	952,520	5.5	▲ 70,785	▲ 7.4
繰越金	100	0.0	100	0.0	0	0.0
諸収入	171,556	1.0	143,420	0.8	28,136	19.6
小計	5,086,207	28.3	4,937,293	28.2	148,914	3.0
地方譲与税	260,010	1.4	242,752	1.4	17,258	7.1
利子割交付金	700	0.0	600	0.0	100	16.7
配当割交付金	6,500	0.0	6,500	0.0	0	0.0
株式等譲渡所得割交付金	7,300	0.0	7,400	0.1	▲ 100	▲ 1.4
法人事業税交付金	41,500	0.2	38,700	0.2	2,800	7.2
地方消費税交付金	695,200	3.8	702,600	4.0	▲ 7,400	▲ 1.1
ゴルフ場利用税交付金	21,200	0.1	20,800	0.1	400	1.9
依存財源						
環境性能割交付金	22,100	0.1	14,500	0.1	7,600	52.4
国有提供施設等所在市町村助成交付金	568	0.0	536	0.0	32	6.0
地方特例交付金	114,300	0.6	16,000	0.1	98,300	614.4
地方交付税	6,850,000	37.9	6,720,000	38.4	130,000	1.9
交通安全対策特別交付金	2,400	0.0	2,400	0.0	0	0.0
国庫支出金	2,437,315	13.5	2,487,402	14.2	▲ 50,087	▲ 2.0
県支出金	1,816,400	10.1	1,605,517	9.2	210,883	13.1
市債	718,300	4.0	697,000	4.0	21,300	3.1
小計	12,993,793	71.7	12,562,707	71.8	431,086	3.4
計	18,080,000	100.0	17,500,000	100.0	580,000	3.3



歳出（性質別）

単位：千円、%

	R6		R5		増減額 A-B	増減率 (A-B)/B
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比		
義務的経費	8,431,423	46.6	8,192,256	46.8	239,167	2.9
人件費	3,009,523	16.6	2,874,104	16.4	135,419	4.7
扶助費	3,730,655	20.6	3,560,577	20.4	170,078	4.8
公債費	1,691,245	9.4	1,757,575	10.0	▲ 66,330	▲ 3.8
投資的経費	1,605,326	8.9	1,533,385	8.7	71,941	4.7
普通建設事業費	1,222,612	6.8	1,160,771	6.6	61,841	5.3
災害復旧事業費	382,714	2.1	372,614	2.1	10,100	2.7
その他の経費	8,043,251	44.5	7,774,359	44.5	268,892	3.5
物件費	2,844,031	15.7	2,680,787	15.3	163,244	6.1
維持補修費	81,163	0.4	20,466	0.1	60,697	296.6
補助費等	2,568,029	14.2	2,476,609	14.2	91,420	3.7
積立金	647,948	3.6	493,979	2.8	153,969	31.2
投資及び出資金	120,618	0.7	213,422	1.2	▲ 92,804	▲ 43.5
貸付金	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
繰出金	1,721,462	9.5	1,829,096	10.5	▲ 107,634	▲ 5.9
予備費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
計	18,080,000	100.0	17,500,000	100.0	580,000	3.3



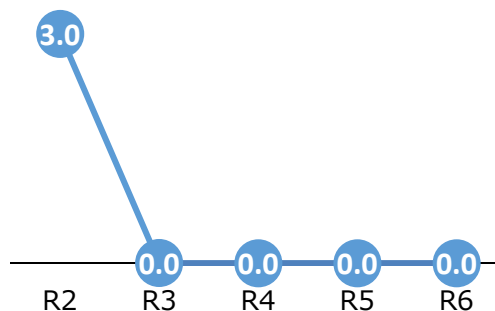
財政調整基金繰入金 維持

0 円

前年同額

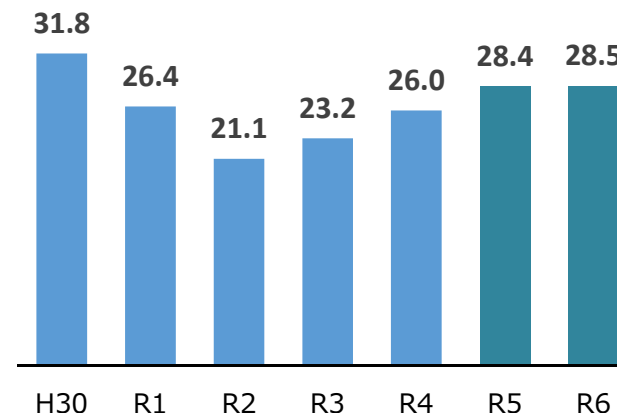
- ✓ 歳入と歳出の差を調整する財政調整基金繰入金は4年連続で、0を達成
- ✓ 基金残高は健全化条例ガイドラインにて20億円を堅持することを明記

当初予算推移（億円）



財政調整基金残高推移（億円）

※R5、R6は見込値



財政調整基金以外の基金繰入金

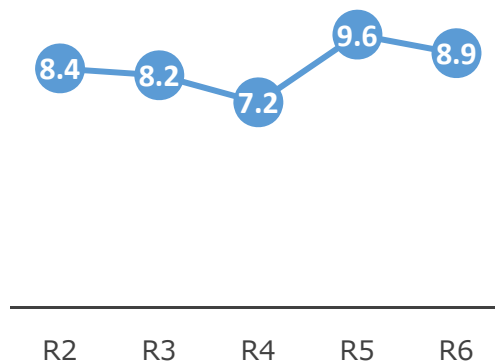
改善

8.9 億円

前年 ▲ 0.7 億円

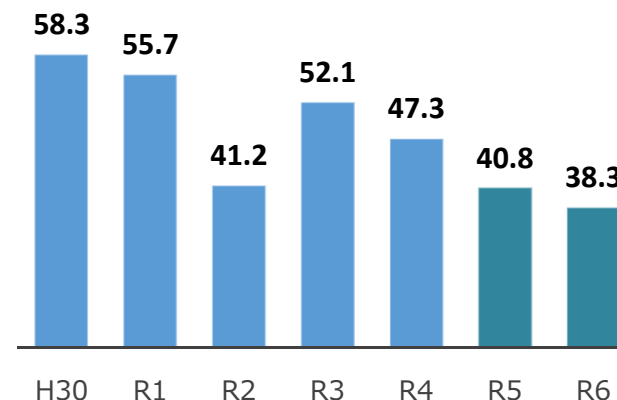
- ✓ ふるさと杵築応援基金を4億9,780万円取崩
- ✓ 地域活力創出基金を2億9,080万円取崩
- ✓ 将来の財政需要（施設の更新・修繕費等）に向けて基金の確保が課題

当初予算推移（億円）



財政調整基金以外の基金残高推移（億円）

※R5、R6は見込値



R6発行額 ※ガイドラインベース

健全化条例遵守

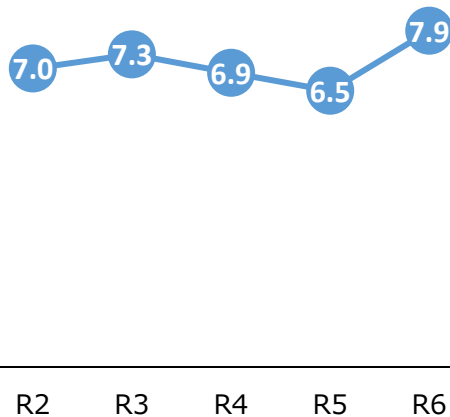
7.9 億円

前年 +1.4 億円

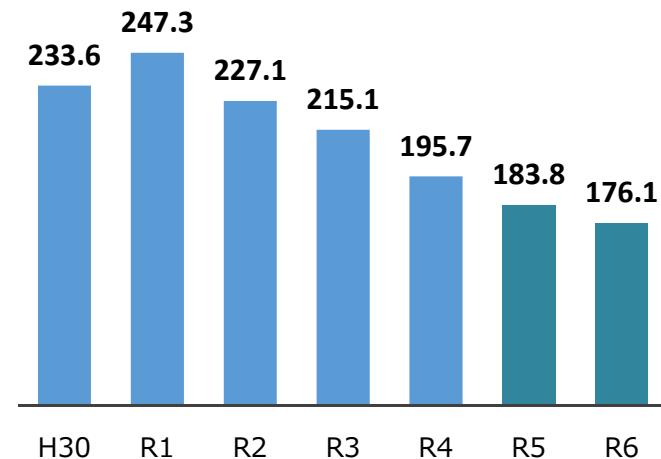
- ✓ ガイドラインにおけるR2~R6の発行限度額37.5億円以内
⇒ガイドライン最終年であり、ガイドライン達成見込
- ✓ 繰上償還やプライマリーバランスの黒字化により残高は
近年減少傾向

①道路や橋りょうの改良等に	1億9,660 万円
②ケーブルテレビの整備に	1億9,390 万円
③漁港・港湾の整備に	1億3,570 万円
④ため池等の農業整備に	6,830 万円
⑤東山香地区コミュニティセンターの整備に	3,200 万円
⑥急傾斜地の対策に	1,910 万円
⑦小型ポンプ付き積載車の購入に	1,740 万円
⑧ソフト事業に (子ども医療費助成事業、複式学級支援事業 等)	1億2,460 万円

当初予算推移 (億円)
※ガイドラインベース



市債残高推移 (億円)
※R5、R6は見込値



杵築市自治基本条例において、「すべての計画の基本となり、行政運営の総合的な指針」とされている総合計画は、H29に策定した第2次計画がR6で終了し、R7から第3次計画がスタートします。

総額

1,303 万円

R5実施：481万円（予算額）

- ・市民アンケート（集計、分析）
- ・論点データ等を用いた市民ワークショップ（市民参画）
- ・杵築高校1年生の総合的な探究時間による検討
- ・職員ワークショップ
- ・基本構想、基本計画の検討

- ・将来杵築市は〇〇であって欲しい！
- ・杵築市は今後何をするの？
- ・協働って何だろう？



R6実施予定：822万円

- ・総合計画審議会の開催
- ・基本構想、基本計画の策定
- ・予算との連動を考慮した実施計画の策定
- ・パブリックコメント



策定イメージ

1経済・創業

地域一丸となって取り組む商工業の振興

目指す姿

商工会やきつとすきなどの関係機関と連携することにより、市内企業の経営安定化と地域経済の活性化を目指します。



現状と課題

・商工業者等支援事業・小規模事業者を取り巻く環境は、年々厳しさを増しており、地域間格差・業種間格差・企業間格差等の競争に負けないように小規模事業者への踏み込んだ経営指導、地域の活性化が必要になります。

・地域商社設立事業・株式会社「きつとすき」は、さらなる地域産業の発展のため、職員の充実や経営基盤の強化及び安定を図る必要があります。また、新たな製品の発見や新しい売場の発掘などの活動に取り組む必要があります。

・ふるさと納税額は年々増加しており、リピート購入もあります。継続的な杵築市ファンの獲得に向けた製品の発掘を行うとともに、ふるさと納税と同様の商品を購入できるECサイトなどの展開も望まれています。

これからの基本方針

商工業者等支援

・商工会が行う市内の小規模事業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業に要する経費の一部を補助・必要な人にそれらのイベントが周知される広報などの体制を確保します。

杵築ブランド流通戦略

・地域の農林水産品および加工品、工芸品等特産品の総合的な流通・プロモーション支援・販路拡大のためのPR活動やイベントへの参加を進めます。

ふるさと納税返礼品の販売ルート整備

・地域内の空き店舗などを活用し、でふるさと納税等で扱っている産品や地元の農産物などをまとめて購入できる場の整備・開発・ふるさと納税でファンとなっていた方が直接購入できる体制の整備や運営を進めます。

主な取り組み

杵築市商工会運営支援事業

・商工会が行う市内の小規模事業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業に要する経費の一部を補助することで、杵築市の大多数を占める中小・小規模事業者に対する伴走型支援につなげていきます。

地域商社運営事業

・株式会社「きつとすき」により特産品を広く発信し、地域産業の振興を図ってきました。引き続き杵築ブランド認定品をはじめとする特産品のPR及び販路拡大を目的としたイベントの開催や、新たな特産品の発掘や加工品の企画等を実施していきます。

地域産品購入サイト構築事業

・ふるさと納税等で取り扱いのある産品について、都市部リピーターが購入できるECサイト等の構築など、体制の整理を検討していきます。

みんなでできること・できること

自助

- ・地域の産品を積極的に購入していきます。
- ・地域の産品で「これはよかった！」と思うものを、口コミ・SNS等で発信していきます。

共助

- ・地域の産品を取り扱う店舗が増えるようにします。

公助

- ・経営基盤の強化に必要な支援を進めてまいります。
- ・「きつとすき」の運営などを通して、都市部への販路を確保します。

事業目標(KPI)

番号	指標名	成果指標のねらい	現状値	目標値(5年後)	目標値のねらい
1	きつとすきブランドの認定品目数	杵築の産品の販路を拡大するため	〇〇	××	
2	経営指導や相談件数 セミナーへの参加者数	地域の経営基盤を強化します	〇〇	××	

関連する個別計画

R5に実施した第3次総合計画市民アンケートでは、
 移住定住施策について、「雇用の機会や職業の選択肢を増やす」が最も求められています。
 また、29歳以下の方は「子育て支援」を最も求めており、総合的な対策を進めます。



子育て

new



学校給食食材費高騰対策事業：2,373万円
 (財源：地域活力創出基金)
 栄養バランスと量を保った学校給食を維持するため、
 食材費高騰分を学校給食センター運営委員会に補助

new

● **医療的ケア児在宅訪問支援事業：108万円**
 (財源：国庫支出金、県支出金)
 日常的に医療的ケアが必要な児童を
 在宅で看護している方が、一時的な休息等のために
 訪問看護サービスを利用する際の費用を補助

new

● **こども誰でも通園制度試行的事業：48万円**
 (財源：国庫支出金)
 保育所入所要件を満たしていない家庭にも月10時間を
 上限とした定期的な預かりを実施 (国はR8から制度化予定)

移住・定住促進対策事業：1,030万円 (拡充額)
 (財源：県支出金、地域活力創出基金)
 高校生以下の子どもを帯同する県外転入者が、
 移住生活をスムーズにスタートできるよう
 マイカー取得に対し補助 (1/4補助、上限50万円)

また、県外、県内転入者および市内居住者が居住用住宅を取得する場合、
 従来の子育て世帯の定額加算から子ども1人につき10万円の加算に拡大

子育て世帯加算 ※県外転入者の場合

	現行	拡充後
子ども1人世帯	30万円	→ 30万円
子ども2人世帯	30万円	→ 40万円
子ども3人世帯	30万円	→ 50万円

雇用・企業誘致

new

● **企業就職説明会の開催：91万円**
 人材を求める市内企業と市内での就職 (転職) を
 希望するUIターン者や学生等とのマッチングを行う

企業立地支援事業：6,565万円
 (財源：ふるさと杵築応援基金)
 企業立地を促進し、新たな雇用機会の拡大を図る
 設備投資 (2社) 3,305万円 (10%補助)
 用地取得 (1社) 3,000万円 (50%補助)
 新規雇用者 260万円 (20万円×13人)

new

● **新規漁業就業者育成支援事業：750万円**
 (財源：ふるさと杵築応援基金)
 新規漁業就業者の収入の確保や初期投資費を
 支援するため給付金の支給や補助を行う
 就業予定者：2人

new

● **結婚新生活支援事業：1,350万円**
 (財源：県支出金、地域活力創出基金)
 少子化対策として、新婚生活の経済的負担を
 軽減するため、家賃、引越費用等を補助
 夫婦ともに39歳以下：上限30万円
 夫婦ともに29歳以下：上限60万円

結婚



不妊治療費助成事業：103万円 (拡充額)
 (財源：ふるさと杵築応援基金)
 不妊治療にかかる医療費自己負担額を保険適用、
 保険適用外ともに補助 (上限10万円)



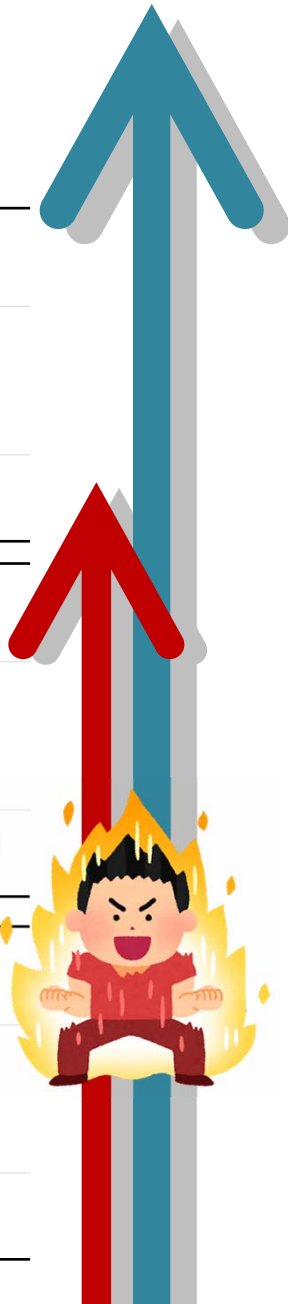
移住したいまち
 定住し続けられるまち

重点3：地域活力×チャレンジ

R5に実施した第3次総合計画市民アンケートでは、
 目指すべき将来像として「活力ある」が「安心・安全」と並び最も支持されました。
 R6は地域活力の創出に対し、予算の拡充を行います。

new	創業支援事業：1,200万円 財源：地域活力創出基金
内容	新規創業にあたって最大のハードルである 資金調達や空き店舗等の活用に対する支援として 初期経費の一部を補助
備考	2/3補助、最大180万円
new	クラウドファンディング応援補助金：100万円 財源：地域活力創出基金
内容	まちづくりにチャレンジする人を応援するため、 クラウドファンディングにより資金調達を目指す 市民活動等に対して、利用手数料の一部を補助
備考	クラウドファンディング手数料または調達資金20%の いずれか低い方を補助、上限20万円
new	おおいたDC観光誘致促進事業：245万円 財源：なし
内容	R6.4~6のおんせん県おおいた destinations キャンペーン（DC）期間中に本市独自のイベントを 開催し、低迷する観光産業の回復を目指す
備考	①杵築、山香、大田広域スタンプラリー ②グルメスタンプラリー

up	地区住民自治協議会交付金：1,383万円 財源：地域活力創出基金
内容	地域課題を住民が主体となって解決していく 取組みをサポート 前年+170万円の拡充
備考	役員報酬の新設 防災講演会の開催などを予定
up	地域おこし協力隊設置事業：1,884万円 財源：なし（特別交付税）
内容	地域協力活動に従事する地域おこし協力隊を 2人から5人に増員 前年+1,312万円の拡充
備考	3人は移住定住促進支援、空き店舗等を活用した 創業支援、地域の魅力発信活動に従事予定
up	きつきお城まつり開催事業：300万円 財源：なし
内容	DC記念事業として夜の部のプログラムを実施し、 滞在時間の延伸を図る 前年+90万円の拡充
備考	テーマ 価値ある文化財を活かし、地域に活力を！



山香病院診療看護師が搭乗する移動診療車で
患者の自宅、コミュニティセンター等を訪問し、
高度なオンライン診療や予防診療を行います。



課題

①利用者負担の軽減

特に高齢者、山間部にお住まいの方

②医療費の抑制

R4後期高齢者
1人あたり医療費は
県内2位の水準

VISION

①移動診療車とオンラインシステムによる持続可能な医療提供体制の確立

- ・インターネットや衛星通信などのネットワークを利用したオンラインシステムによる安定した医療環境を構築
- ・オンライン医療機器を搭載した移動診療車を導入して、通信環境が脆弱な地域や災害時等でも安定的な医療提供体制を確保

②利用者の負担軽減

- ・移動診療車を活用して、巡回診療を行うことで交通不便地域における利用者の移動負担を軽減
- ・オンライン予防診療により、病状を早期に発見し、受診勧奨で重症化を防ぐことで医療費の抑制を図る

③在宅医療の推進

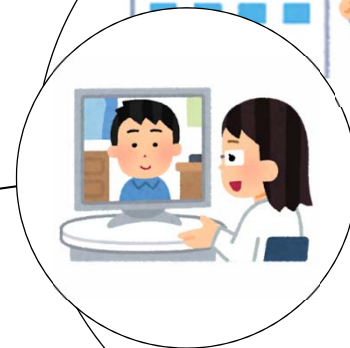
- ・在宅患者と家族の在宅医療を支援する体制の構築

④医療DXの推進

- ・将来的に複数の医療関係機関がオンライン診療サービスに参画
- ・医療介護関係従事者の業務の効率化



- ・オンライン診療
- ・オンラインリハビリ



公立病院だからできる
withチーム

- ・医師
- ・看護師
- ・作業療法士
- ・理学療法士
- ・ケアマネジャー
- ・薬剤師 など

1,966 万円

※一般会計から山香病院への支出額
財源は全額国庫支出金

R7.3運用開始予定



給水車購入：2,212万円 (債務負担行為)

財源：ふるさと杵築応援基金

担当：危機管理課

H11に導入した給水車の更新
給水車の制作に約16ヵ月必要であるため、
債務負担行為を設定



都市計画情報窓口閲覧システム構築：4,924万円 (都市計画総務管理事業)

財源：国庫支出金、地域活力創出基金

担当：企画財政課

H22に作成した都市計画基本図を更新
また、窓口タッチパネルを導入
(来庁者自らデータを閲覧、印刷することが可能となる)



飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助金：25万円 (動物愛護推進事業)

財源：県支出金

担当：市民生活課

地域で野良猫の管理、去勢を行う団体に対し補助
不妊：1万円上限、去勢：5千円上限



带状疱疹予防接種費：359万円 (予防接種事業)

財源：なし

担当：健康長寿あんしん課

50歳以上の方が带状疱疹ワクチン接種をする際、自己負担額の
1/2を補助(生ワクチン：上限5千円(1回まで)、
不活化ワクチン：上限1万円(2回まで))



●中山間地営農経営体強化対策事業：1,300万円

財源：県支出金、ふるさと杵築応援基金

担当：農林水産課

中山間地域等の農業振興を図るため、
高収益品目の導入等による経営多角化を行う
集落営農組織を支援
(収益拡大に向けた人材雇用、機械整備)



●登校支援員活用事業：296万円

財源：県支出金

担当：学校教育課

登校しても教室に入れない生徒に対して、
校内の居場所づくりを図るため校内教育支援ルームを設置し、
教員と連携し学習や学校生活等の支援を行う登校支援員を
中学校に配置



●文化財保存活用地域計画策定事業：300万円

財源：国庫支出金

担当：文化・スポーツ振興課

市内にある指定、未指定文化財の保存及び活用に関する
基本計画を策定
R6：資料整理及び協議会発足
R7～9：各地域の調査及び保存基本計画策定
R10：杵築市文化財保存地域計画の国からの認定



杵築城耐震診断：362万円 (文化財施設管理運営事業)

財源：なし

担当：文化・スポーツ振興課

R6：耐震診断
R7：改修検討委員会発足
R8以降：耐震補強設計、改修工事を
街なみ環境整備事業を活用して実施予定

総額

※主な事業のみ示しています

12.2 億円

② 東山香地区コミュニティセンター整備事業 3,233万円

内容：R7建設に向け、旧小学校プール解体工事および実施設計を実施
担当：協働のまちづくり課
財源：市債：3,200万円

① 非常備消防機械器具整備事業 (小型ポンプ付き積載車購入)：1,758万円

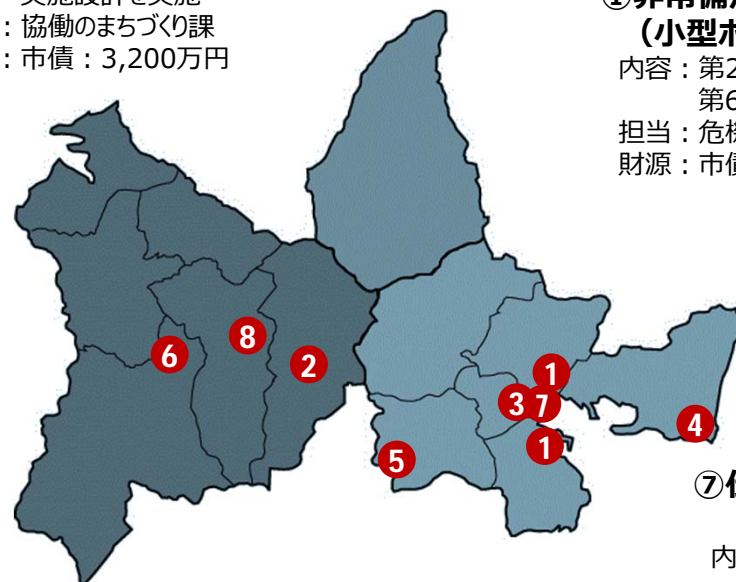
内容：第2分団第4部（東地区）、第6分団第1部（北杵築地区）に導入（2台）
担当：危機管理課
財源：市債：1,740万円

⑥ 重永吉野渡線改良事業：940万円

内容：改良工事費を計上
R8完成予定
担当：建設課
財源：国庫支出金：486万円
市債：450万円

④ 水産物供給基盤機能保全事業 1億3,003万円

内容：美濃崎漁港物揚場の補修工事
担当：農林水産課
財源：県支出金：9,100万円
市債：3,900万円



⑧ 体育施設維持管理事業 (人工芝管理機等導入)：735万円

内容：H29に整備したサッカー場人工芝長寿命化のため
人工芝管理機および牽引トラクタを導入
担当：文化・スポーツ振興課
財源：ふるさと杵築応援基金：730万円

⑦ 伝統的建造物群保存地区保存整備事業 (用地購入等)：2,155万円

内容：北台武家屋敷地区の用地購入に必要な測量、鑑定、土地購入費を計上
担当：文化・スポーツ振興課
財源：国庫支出金：1,401万円、県支出金：108万円
ふるさと杵築応援基金：640万円

⑤ 鹿倉線改良事業：8,400万円

内容：改良工事費、樹木伐採委託料を計上
R9完成予定
担当：建設課
財源：国庫支出金：4,320万円
市債：4,080万円

③ 本庁舎橋梁維持補修工事：5,064万円

内容：本庁舎屋上連絡通路の維持補修工事
担当：財産管理活用課
財源：市有施設整備基金：5,064万円

本庁舎変圧器更新工事：909万円

内容：5台中3台が耐用年数を超過しているため更新
担当：財産管理活用課
財源：市有施設整備基金：906万円